

コンクリート 3D プリンターによる新たなものづくりへの挑戦

— Polyuse × アドヴァンス —

2024.6.1

建設業では、担い手不足や生産性向上が課題となっています。特に離島である佐渡では、資材輸送や人員確保が大きな課題となっています。

当社はこれまで、佐渡島内でプレキャストコンクリート製品を数多く手掛け、輸送や施工の負担軽減につながる製品を提案してきました。

こうした中、当社は株式会社 Polyuse が開発する建設用コンクリート 3D プリンターに着目。型枠を使わず、複雑な形状のコンクリート構造物を形成できる 3D プリンティング技術が、離島のインフラ整備に新たな選択肢を提供できるのではないかと考え、技術検証をスタートしました。

Polyuse とアドヴァンス、それぞれの技術と経験を生かし、コンクリート 3D プリンターによる新たなものづくりと地域貢献の可能性を探っています。



アドヴァンス佐渡工場（佐渡市宮川）

屋根付き脱型場に各種コンクリート試験設備も併設された大型二次製品工場は 3D プリンターの常設場所に最適と考えています。今後の展開にご期待下さい。

離島の課題を施工から解決する。

 Polyuse ×  アドヴァンス

